5月29日
農業体験を通して 自然の大切さを学ぶ

早乙女姿で田植えに臨む女子学生

胆沢若柳の内田ため池周辺で「田んぼの学校」の田植えが行われました。この行事は農作業を通じて自然の大切さを学ぶことを目的に、平成18年度から行われています。当日は地元住民や岩手大学の学生らが参加し、女子学生は早乙女姿を披露。初参加の瀬川都子さん（18）は「手で植えるときの感触が気持ちよかった」と笑顔を見せました。

6月5日
夏山シーズン到来 新緑の中、焼石連峰安全祈願祭

神事で安全を祈願する関係者

岩手から秋田にまたがる焼石連峰の安全祈願祭がつぶ沼広場で行われました。神事には約40人が参加し、関係者らは玉串をささげ山の安全を祈願。式典後には多くの登山者が山頂を目指して出発する姿が見られました。江刺から訪れた菅野勇（いさむ）さん（75）は「10年ぶりの挑戦でワクワクです。無理をせず楽しみたい」と笑みを浮かべました。

6月5日
前沢のまちに熱気 厄年連などが躍動

鳳狼蓮は熱い思いを踊りに込めた

前沢春まつりの代替イベント「前沢まつり」が前沢ふれあいセンター駐車場で開かれました。感染状況が落ち着いてきたことから、今回は入場者数を制限し、有観客で開催。地元から14団体が出演する中、今年の前沢25歳厄年連「青逢翔（しょうほうか）」と42歳厄年連「鳳狼蓮（ほうろうれん）」は、念願の観客の前で力いっぱい創作演舞を披露し、会場を熱く盛り上げました。

若さあふれる演舞を見せた青逢翔

開幕を飾った前沢中学校吹奏楽部

6月5日
ブラックホール撮影成功を イベント開催で祝う

スイーツがせいぞろいした会場

「奥州ブラックホールお菓子フェスティバル」が、Zプラザアテルイで開かれました。この催しは、今年5月の天の川銀河ブラックホールの撮影成功を祝い、地元菓子組合が企画したもの。ブラックホールスイーツなどの販売のほか、撮影に貢献した国立天文台水沢の本間希樹（まれき）所長と泰和弘助教のトークショーも行われ、にぎわいを見せました。

6月12日
イベント併催で 水沢の街に活気再び

露店などが立ち並んだ水沢駅前通り

72回水沢商人まつり（奥州商工会議所主催）が、水沢駅前通りで開かれました。同まつりは、関係者が連携して地元ににぎわいを創出しようと開催。水沢青年会議所が主催する「奥州ビッグバンフェスタ」も併催されました。駅前通りには、移動販売車や露店がずらりと並び、家族連れらが久しぶりの祭りを楽しんでいました。

6月21日
適正な雨量観測に貢献 懸田集落へ感謝状

感謝状に笑顔を見せる懸田集落役員

衣川地域雨量観測所を管理する中山間組織、懸田集落（髙橋敏彦代表）に感謝状が贈られました。同集落は、平成19年に観測所が懸田地区へ移って以来、草刈りなどで施設の維持管理に努めてきました。盛岡地方気象台の中舘明台長は「岩手は一番観測所が多い所。地元で小まめに管理していただき助かっている」と感謝の言葉を述べました。

6月27日
笑顔の花咲く学校へ 統合校の校歌歌詞と校章を決定

採用された柴田さん（右）と小野寺さん（左）

来年4月に開校する江刺ひがし小学校の校歌歌詞と校章が決まりました。校歌歌詞に採用されたのは前沢の柴田真帆（まほ）さん（19）の作品で、自身の統合の経験などを基に、笑顔の花が咲く学校になってほしいとの願いを込めました。校章に採用されたのは水沢の小野寺満さん（67）の作品で、統合する5校を5色の桜の花びらで表現しました。